



Lions Clubs International

シド・スクラッグス国際会長よりライオン指導者へのメッセージ

ライオン各位

災害が起こるとライオンズが対応に当たります。先月日本がこれまでで最悪の天災に見舞われた時もそうでした。世界中のライオンズが、暗黒時に光を照らすため直に奉仕を行うことにより「希望の光」となる態勢を整えていました。言うまでもなく、天災に見舞われた時に即座に行動を起こすといったことは、ライオンズにとって今始まったことではありません。壊滅的な地震がニュージーランドのクライストチャーチで発生した時もライオンズの準備は整っていました。



2010年の地震が広範囲に及ぶ苦しみをもたらしたハイチには現地のライオンズと海外からやってきたライオンズの「被災現場」における救援活動の姿があり、そうしたことからライオンズクラブ国際協会は被災者援助に当たる最も信頼のおける団体の一つとして認められているのです。事実、この危機に応えたライオンズに対する敬意が、ハイチで新クラブを一つ結成することにつながりました。

私たちのモットーは「われわれは奉仕する」であり、私たちはその通りのことをしています。ライオンズの奉仕が、長引く苦難と復興に向けた即座の活動開始との差をつけるのです。中国における大地震、米国でのハリケーン・カトリナ、そして2004年の南アジア津波が起こった時、素早く救援に当たったからこそ、ライオンズクラブ国際協会は、天災発生時に援助の手を差し伸べる世界有数の非政府組織の一つとして位置付けられているのです。

これは私たちみんなが大いに誇りにしてよい事実なのです。と同時に、毎日世界中の何万もの地域でライオンズが、目立たずとも立派な奉仕をしていることを忘れてはなりません。

ライオンズはこれまで以上に多くの素晴らしい奉仕を地域と世界に提供しており、それはさらに多くのライオン、そしてさらに多くのライオンズクラブが必要であることを意味するのです。

草々

国際会長

シド L. スクラッグス III 世